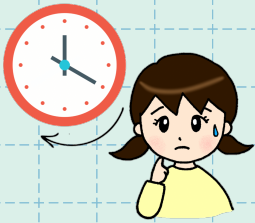


～先に食べ始めてもOKな時代に?～

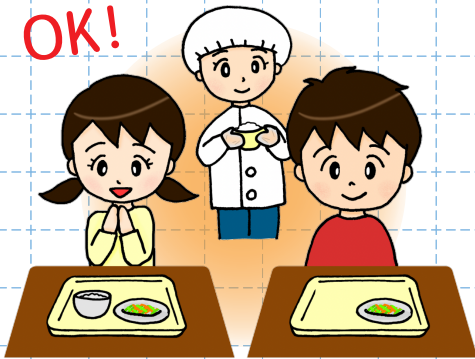


「給食の時間が短いこと」は、食べるのが遅い子にとっては大変です。一方で、給食の時間を伸ばすことは現実的には難しく、それ以外の工夫が必要になります。今回はその工夫の1つとして、取り組み始めている学校もある「先に食べ始めてOKにする指導」を紹介します。

「先に食べ始めてOKにする指導」とは

先に食べ始めて

OK!



時間内に食べ終われないことが多い子に対して

「先に量を減らす」

という指導は広がってきましたが、該当の子が給食当番ではない時に

「先に配膳して先に食べ始めてOKにする」

という指導をしている先生もいます。これをすると、食べる時間が長くすることができます。

※先に食べ始めたとしても、みんなで「いただきます」をするタイミングでは、いったん食べるのをやめて「いただきます」をするようにします。また、その指導に対して、周りの子から「先に食べてズルい」などと言われないような、周知や普段から雰囲気作りも大切になります。

⚠ 注意 ⚠

「食べるのが遅い」という問題は、食べる時間が長くなれば全て解決というわけではありません。「完食しなければいけない」というルールがプレッシャーになり、食べることに時間が掛かる原因になることもあります。また、食べることに関わる「機能的な問題」に該当しないかも確認してみましょう。

上記のような問題には該当せず、「単純に食べる時間が短くて、それが苦痛になっている」という場合であれば、今回の指導は有効だと考えます。食べるのが遅い子への指導のヒントとして参考になれば幸いです。

詳しい解説記事はこちら!

